

インドネシアでMRT 関連のTODを支援

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、インドネシアでMRT（都市高速鉄道）事業に伴うTOD（公共交通指向型都市開発）を支援している。ジャカルタ都市高速鉄道公社（MRTJ）がTODを促進するため建設した複合施設「トランスポートハブ」内に、オリコンサルグローバルが幹事会社を務める「ジャカルタMRT南北線2期入札

支援・施工監理」業務の事務所を2日に設立した。

同社は1980年代から首都ジャカルタの交通マスタープラン策定など交通ネットワーク構築事業を担っている。最近ではMRTのうち2019年3月に開業した南北線フェーズ1の入札支援・施工監理業務のほか、南北線フェーズ2の設計・入札支援・施工監理業務、東西線の設計業務に携わっている。

MRTJとはTOD支援や海外協働の覚書を交わしている。